



Dahua DeepHub デジタルホワイトボード ユーザーマニュアル



V1.1.2

はじめに

一般

本マニュアルは、Dahua DeepHubデジタルホワイトボード（以下、「本ホワイトボード」といいます）の機能と操作を紹介します。

本マニュアルには、製品を安全にお使いいただくためのさまざまな注意事項が示されています。これらの注意事項を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

図記号の意味

（図記号の一例です。）

図記号	意味
	気をつける必要があることを表しています。
	してはいけないことを表しています。
	しなければならないことを表しています。
	問題を解決したり時間を節約するための方法を示します。
	本文補完用の追加情報を示します。

プライバシー保護に関する通知

本ホワイトボードのユーザーまたはデータ管理者として、あなたが他者の顔などの個人データを収集する場合があります。その際には、プライバシー保護の法規制を遵守し、他者の正当な権利と利益を保護するために、次のような措置を実施する必要があります。

- 監視エリアの存在を通知・公表し、明確で目に見える情報を提供する。

マニュアルについて

- 本マニュアルと実際の製品には若干の差異が見られる場合があります。
- 本マニュアルに従わない方法で本ホワイトボードを操作したことにより生じた損害については、当社は責任を負いません。
- マニュアルは該当の管轄地域における最新の法規制に基づき更新されます。詳しくは、紙版のユーザーマニュアルをご覧ください。あるいは、QRコードをスキャンしていただくか、公式サイトをご覧ください。本マニュアルは参照のみを使用目的とします。電子版と紙版では、若干の差異が見られる場合があります。
- 本ホワイトボードのデザインやソフトウェアは、書面による予告なしに変更されることがあります。そのため、実際の製品とマニュアルとの間に差異が生じる場合があります。
- マニュアル（PDF形式）を開くことができない場合は、リーダーソフトウェアをアップグレードするか、他のリーダーソフトウェアをお試しください。
- 本マニュアルに記載されている商標、登録商標、会社名は、それぞれの所有者に帰属します。
- 本マニュアルの内容に、ご不明な点や誤りなど、お気づきの点がありましたら、保証書に記載している連絡先へご連絡ください。

お願い

- 本ホワイトボードは厳格な品質管理と検査を経て出荷されていますが、万が一故障または不具合が生じた場合は、保証書に記載している連絡先にご連絡ください。

- 当社は、法律による責任が認められない限り、お客様または第三者の製品の誤使用によって生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害に対して責任を負いません。
- 本ホワイトボードを廃棄する場合は、各自治体の廃棄ルールに従ってください。
- 本ホワイトボード（付属品含む）は、予告なく改良される場合があります。

- ・ Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Apple、Mac、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ Google、Android および Chrome OS は、Google LLCの商標または登録商標です。
- ・ HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- ・ EShare は、EShare Technology Co., Ltd. の商標または登録商標です。
- ・ そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

安全対策と警告

本章では、本ホワイトボードの適切な取扱い、受傷事故の予防、物損の防止に関する内容を紹介しています。本ホワイトボードのご使用前によくお読みになり、使用の際にはガイドラインを遵守してください。

また、本ホワイトボードは、Wi-Fi5GHz帯利用のため、電波法により屋外での使用が禁止されています。

保管条件



- 本ホワイトボードは、湿気やほこりの多い場所、湯気や油煙の当たる場所を避けて保管してください。
- 適正な湿度（10%から90% (RH)）および温度（-20°Cから+60°C）の条件下で本ホワイトボードを保管してください。

設置条件



- 本ホワイトボードを不安定な場所に置かないでください。
- 本ホワイトボードを直射日光の当たる場所や火気の近く、水などのかかる場所、湿気が多い場所などに設置しないでください。
- 落下や転倒を防ぐために、本ホワイトボードは安定した場所に取付けてください。
- 本ホワイトボードは風通しの良い場所に置き、通風孔を塞がないようにしてください。
- 電源は、IEC 62368-1規格のES1要件に準拠し、PS2以下を使用してください。電源条件は機器のラベルに従ってください。
- 本ホワイトボードは、クラスI電気器具です。本ホワイトボードの電源がアース付き電源ソケットに接続されていることを確認してください。
- 電源接続器は断路装置です。使いやすい角度を保って使用してください。

メンテナンス条件



- メンテナンスを行う前に本ホワイトボードの電源を切ってください。また、本ホワイトボードのクリーニングの際は、ベンジン・シンナー・液体クリーナー・スプレー式

クリーナーは使用しないでください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

- ディスプレイの表面をクリーニングするときは、清潔で柔らかい布を使用するか、専用のクロスをご使用ください。ディスプレイのクリーニングには、濡れた布を使用しないでください。画面が損傷する恐れがあります。

安全にお使いいただくために



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



電源コードを傷つけたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。また、重いものをのせたりしないでください。火災や感電の原因となります。



電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用してください。火災や感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら、本ホワイトボードの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。



発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きた場合は、すぐに本ホワイトボードの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて保証書に記載している連絡先にご連絡ください。そのまま使用し続けると、火災や感電の原因となります。



本ホワイトボードが変形、破損した場合は、本ホワイトボードの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて保証書に記載している連絡先にご連絡ください。そのまま使用し続けると、火災や感電の原因となります。



電源プラグにほこりやゴミが付着している場合は、乾いた布や掃除機などで取り除いてください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。また、本体内部に水や異物が入った場合は、本ホワイトボードの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜い

て保証書に記載している連絡先にご連絡ください。そのまま使用し続けると、火災や感電の原因となります。保証書に記載している連絡先にご連絡ください。



本ホワイトボードの中にクリップやピンなどの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。



湿気やほこりの多い場所、湯気や油煙の当たる場所で使用しないでください。また、腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境でも使用しないでください。火災の原因となります。



本ホワイトボードの裏ぶたを外さないでください。また、分解や改造はしないでください。内部には電圧の高い部分があり、触ると感電する可能性があります。内部の点検や修理は、保証書に記載している連絡先にご連絡ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



水がかかるような場所や湿気の多い場所に設置しないでください。また、本ホワイトボードの上や近くに花瓶などの水が入った容器を置いたり、エアコンなど水を排出する機器の近くに設置しないでください。火災や感電の原因となります。



本ホワイトボードは、航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや制御などを目的とした使用はできません。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を与える可能性があることを示しています。



電源コードは、必ず付属または指定のものを使用してください。（付属の電源コードはAC100V用です）付属や指定以外のものを使用すると、火災の原因となります。



電源プラグをコンセントから容易に抜き差しできる状態で使用してください。



電源コードは、タコ足配線しないでください。タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となります。



電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。



火災や感電を防ぐために、次のことに注意してください。

- 電源プラグを抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って抜いてください。
- お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは使用を中止し、お買い上げの販売店または保証書に記載している連絡先にご連絡ください。



直射日光の当たる場所や暖房器具など、高温になる場所で使用しないでください。発熱や発火の原因となります。



不安定な台や場所に置かないでください。強い衝撃や振動を与えないようにしてください。落下したり、転倒したりしてけがの原因となります。



うつ伏せや逆さまにして使用しないでください。熱がこもり、発熱や発火・故障の原因となります。



本ホワイトボードの上に物を置いたり、乗ったりしないでください。落下したり、転倒したりしてけがの原因となります。



風通しが悪い場所に置かないでください。また、じゅうたんや布団の上や、布などをかけた場所にも置かないでください。通風が妨げられると、内部に熱がこもり、故障や発熱、発火の原因となります。



画面を強く押したり、衝撃を与えたりしないでください。画面に力が加わると、破損や故障、けがの原因となります。



先のとがった物や硬い物で画面を押したり、こすったり、叩いたりしないでください。破損や故障、けがの原因となります。



移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、接続されているケーブルを外してください。電源コードやケーブルが傷ついたり、電源コードやケーブルに引っ掛かり、ホワイトボードが転倒してけがの原因となります。



通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除いてください。通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火、故障の原因となります。



ボードのクリーニングの際は、ベンジン・シンナー・液体クリーナー・スプレー式クリーナーは使用しないでください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

ディスプレイの表面をクリーニングするときは、清潔で柔らかい布を使用するか、専用のクロスをご使用ください。ディスプレイのクリーニングには、濡れた布を使用しないでください。画面が損傷する恐れがあります。



乾電池を使用する際は、以下の点に注意してください。

誤った使用法は、破裂や発火の原因となる可能性があります。また、液漏れにより機器が腐食し、手や衣服が汚れる可能性があります。

- 指定された種類以外の電池を使用しないでください。
- プラス（+）とマイナス（-）の向きを表示に従って正しく入れてください。
- 新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。
- 種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。同じ形でも電圧が異なるものがあります。
- 消耗した場合は、速やかに交換してください。
- 長時間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 廃棄する場合は、プラス（+）とマイナス（-）をセロハンテープで絶縁して廃棄してください。各自治体によって「ゴミの捨て方」が異なります。地域の条例に従ってください。
- 火や水に投入したり、加熱、分解、改造、ショートさせたりしないでください。



もし乾電池から液漏れが起こった場合、皮膚や衣服に付いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、漏れた液が目に入った場合は、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。皮膚かぶれや目の障害の原因となります。



本ホワイトボードの温度が高くなる部分に長時間触れないでください。低温やけどの原因となります。

目次

はじめに	II
重要な安全対策と警告	V
1 概要	1
1.1 はじめに	1
1.2 同梱品リスト	1
1.3 構造	2
1.3.1 外観	2
1.3.2 寸法	4
1.3.2.1 寸法 (65インチ)	4
1.3.2.2 寸法 (75インチ)	5
1.3.3 ポート	6
2 ホワイトボードの起動とスリープモード設定	7
2.1 ホワイトボードの電源を入れる	7
2.2 画面をスリープモードにする	8
3 基本操作	9
3.1 クイック操作	9
3.1.1 ナビゲーションバーを表示する	10
3.1.2 コンパスマニューを表示する	11
3.1.3 クイックツール	12
3.2 ホワイトボード	16
3.3 ファイル管理	18
3.4 画面共有	19
3.4.1 アプリによる画面共有	20
3.4.2 ワイヤレスドングルによる画面共有	23
3.5 システム設定	24
3.5.1 ネットワーク接続設定	24
3.5.2 一般設定	26
3.5.3 詳細設定	27

3.5.4 システム設定	28
4 シャットダウン	31
5 システムアップデート	32
5.1 USBでアップデート	32
6 FAQ	34
付録1 タッチ操作	35
付録2 サイバーセキュリティに関する推奨事項	36

1 概要

1.1 はじめに

Dahua DeepHubデジタルホワイトボードは、マルチメディア統合デバイスです。大型のHD画面、PC、TV、電子ホワイトボード、オーディオアンプ、アプリケーション、中央制御システムを統合しています。

本ホワイトボードは、以下の機能・特徴に対応しています。

- 4K HD液晶ディスプレイ
- AndroidとWindows間の切り替え（Windowsの場合、OPS(PCモジュール)の設置を必要とします）
- ワンタップでの携帯電話やパッドなどのデバイスからの投影
- 電子ホワイトボード
- Microsoft Officeなどの様々なオフィスソフトや、オーディオおよびビデオファイルの閲覧

1.2 同梱品リスト

開梱前に梱包箱に明らかな損傷がないかを確認してください。開梱したらまず、部品が同梱品リスト通りに揃っているかを確認してください。

表1-1 同梱品リスト

名称	数量	名称	数量
Dahua DeepHubデジタルホワイトボード	1	電源コード	1
タッチペン	2	ユーザーマニュアル	1
壁掛け用ブラケット（ホワイトボードに取付けられています）	1	アクセサリパッケージ	2
リモコン	1	法律および規制に関する情報	1



アクセサリパッケージには、ボードアンカー×8、プラスチックパッド×6、セルフタッピングネジ×8、ガスケット×12が含まれています。

1.3 構造

1.3.1 外観

図1-1 外観（65/75インチシリーズ、カメラ搭載機）

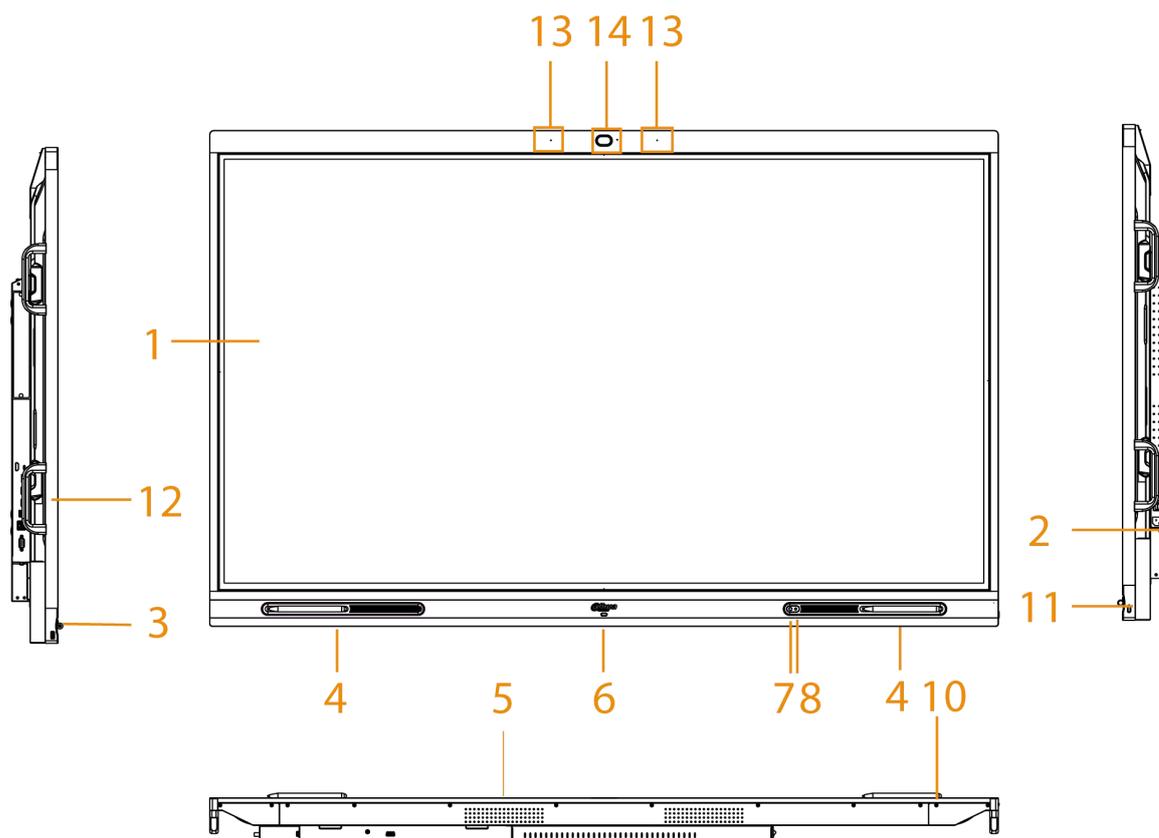


表1-2 外観の説明

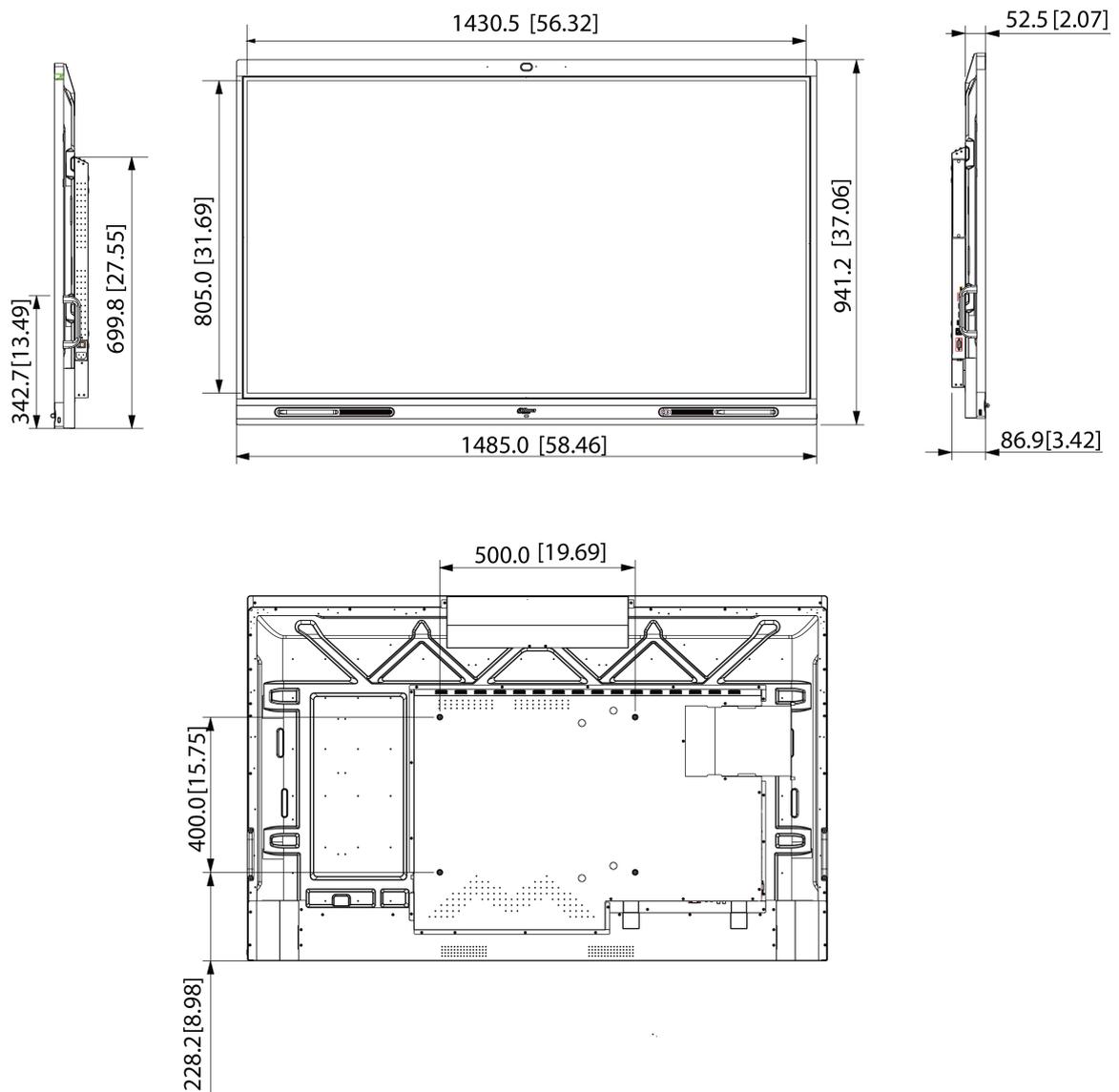
番号	説明
1	LCD
2	電源入力ポート。AC100-240V  電源コードを接続した後、主電源スイッチを押してホワイトボードの電源を入れます。

番号	説明
3	USB 3.0ポート
4	タッチペン収納エリア(マグネット式)
5	スピーカー(マルチメディアサウンドを再生)
6	インジケータライト スタンバイ状態：赤色点灯 起動中：青色点灯 電源オフ時：消灯
7	照度センサー 本デバイスは、照度センサーによって周囲の明るさを認識し、バックライトの明るさを自動調整します。
8	赤外線受光部。リモコンからの信号を受信します。
9	RS-232ポート。デバイス間でデータ転送に使用します。 RS-232ポートを備えた中央制御装置と接続することができます。
10	ライン出力 音声出力のため、イヤホンやスピーカーに接続します。
11	電源ボタン <ul style="list-style-type: none"> ● ボタンを押すと、画面をオン/オフできます。 ● ボタンを5秒間長押しすると、ホワイトボードの電源をオフできます。 ● タッチロックが有効な場合、電源ボタンを3回押して、タッチロックを解除可能。
12	デバイス側面 各種ポート
13	内蔵マイク ライブ音声のピックアップに使用
14	内蔵HDカメラ

1.3.2 寸法

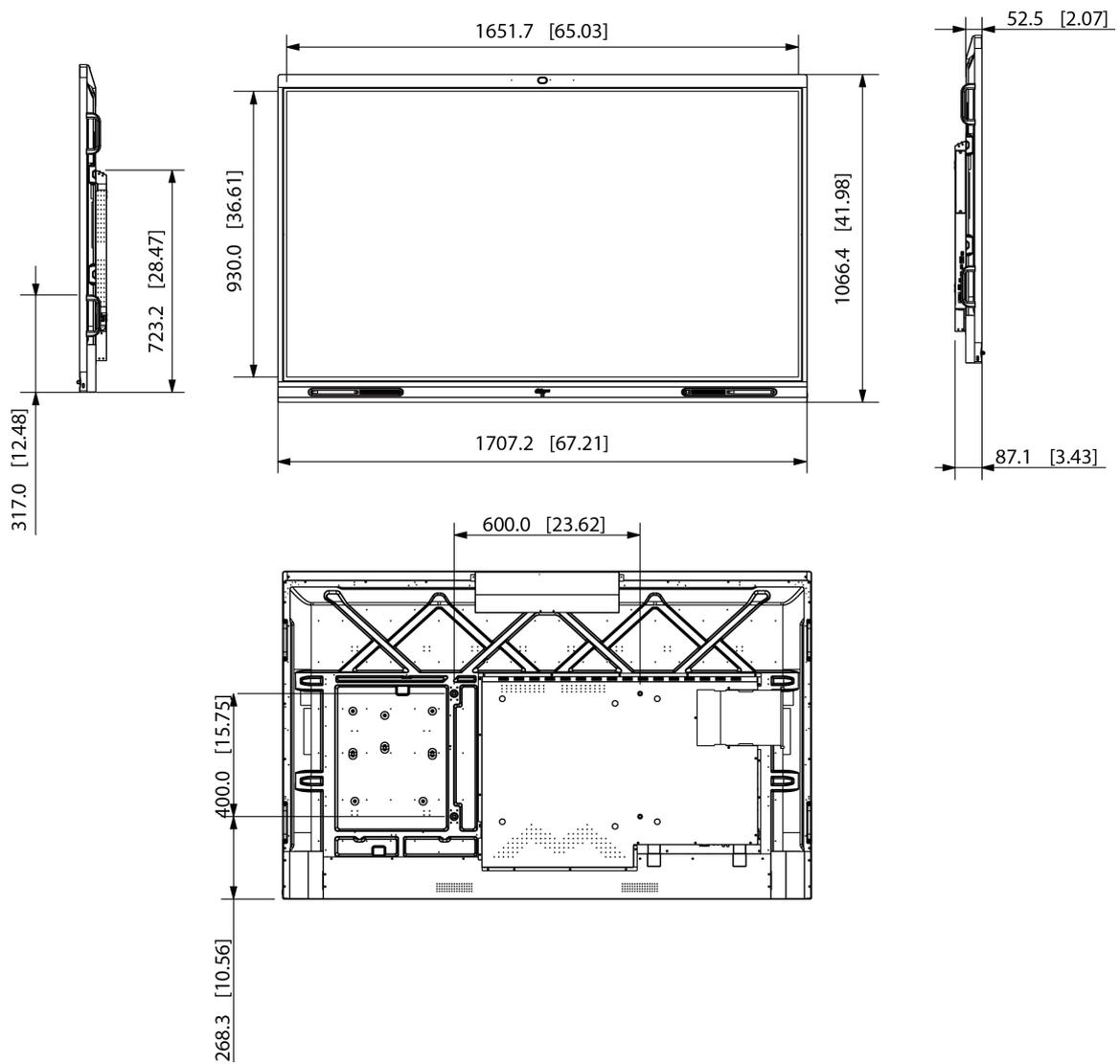
1.3.2.1 寸法 (65インチ)

図1-2 寸法 (カメラ搭載機 : mm [インチ])



1.3.2.3 寸法 (75インチ)

図1-3 寸法 (カメラ搭載機 : mm [インチ])



1.3.3 ポート

図1-4 ポート (65/75/インチシリーズ)

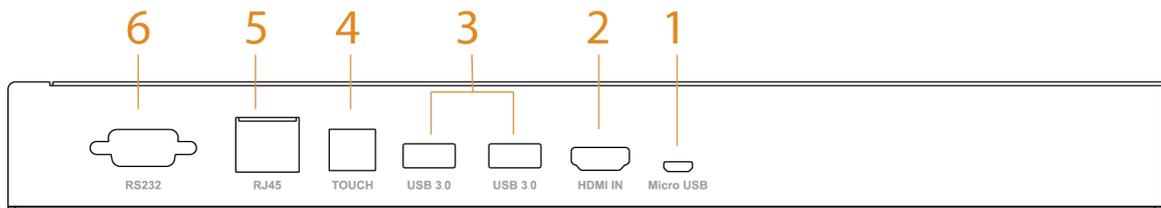


表1-3 ポートの説明

番号	名称	説明
1	マイクロUSB	Androidシステムのデバイスに使用します。
2	HDMI IN	HDMI入力端子。HDMI出力を備えたPCやセットトップボックスなどの接続に使用します。
3	USB 3.0	モバイルストレージ、USBメモリー、USBキーボード、USBマウスなどのUSBデバイスを接続します。内蔵のAndroidシステムおよびオプションのOPS PCモジュールの両方からアクセス可能です。
4	TOUCH	タッチ信号を送信します。 HDMIでホワイトボードとPCを接続した後、TOUCHポートをPCのUSBポートに接続すると、ホワイトボード上のタッチ操作でPCを操作することが可能になります。
5	RJ-45ポート	1000Mbpsネットワークポート。ネットワークケーブルを接続し、ネットワークにアクセスします。
6	RS-232ポート	デバイス間でデータ転送を行います。RS-232ポートを備えた中央制御装置と接続することができます。

2 ホワイトボードの起動とスリープモード設定

2.1 ホワイトボードの電源を入れる

事前条件

- ホワイトボードを起動する前に、接続された電源が接続要件を満たすか確認してください。
- 本ホワイトボードおよび本ホワイトボードに接続される外部デバイスを安定して動作させ、耐用年数を延ばすために、安定した商用電源の使用を推奨します。

手順

ステップ1:

電源コードをホワイトボードの電源入力ポートに接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

ステップ2:

ホワイトボード背面にある主電源スイッチ（「-」側）を押して、主電源を入れます。

ステップ3:

フロントパネル横にある電源ボタンを押して、ホワイトボードを起動します。

ホワイトボードが起動すると、ホーム画面が表示されます。

図2-1 ホーム画面

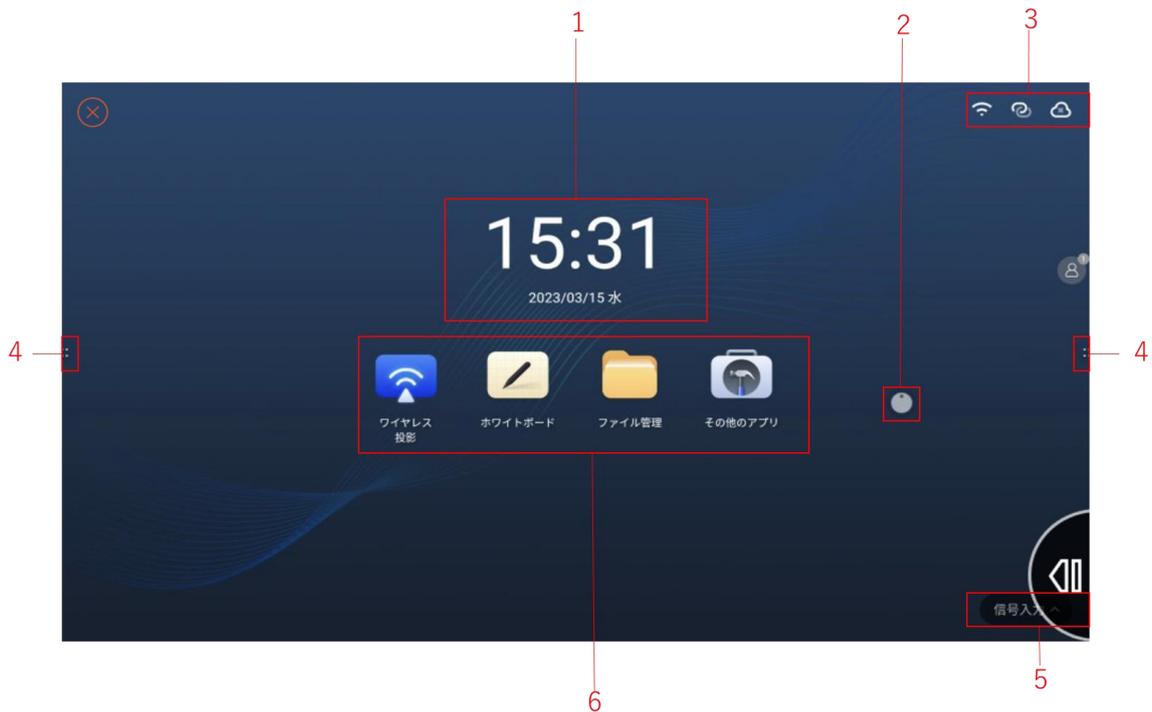


表2-1 ホーム画面の説明

番号	説明
1	日付、時刻、曜日を表示します。
2	コンパス。ホワイトボードやファイル管理などの機能を素早く利用することができます。詳細については、「3.1.2 コンパスメニューを表示する」を参照してください。
3	デバイスのステータスバー。各ステータス情報を表示します。詳細を見るには各アイコンをタップしてください。
4	 をタップすると、ナビゲーションバーを表示します。 詳細については、「3.1.1 ナビゲーションバーを表示する」を参照してください。
5	入力ソース。接続した機器の映像入力を確認できます。
6	機能エリア。機能アイコンをタップすると、対応する操作画面へ移動します。  サードパーティアプリの場合は、対応するアイコンを長押しして、アプリをアンインストールすることができます。この方法では、付属のアプリをアンインストールすることはできません。

2.2 画面をスリープモードにする

ホワイトボード起動時に、フロントパネル横の電源ボタンを一度押すと、スリープモードになります。

- スリープモードの解除方法：電源ボタンを短押し or 画面をタッチ



Windowsシステムでは、画面ロックのパスワードを設定している場合、ホワイトボードを起動するために正しいパスワードを入力する必要があります。

3 基本操作

ホワイトボードは、コンピューター、電子ホワイトボードとして使用することができます。本章では、それらの機能の基本操作をご紹介します。画面上で直接操作する場合は、タッチペンの使用をお勧めします。タッチ操作の詳細については、「付録1 タッチ操作」を参照してください。

3.1 クイック操作

ナビゲーションバーやコンパスを使用して、基本機能を素早く使用することができます。

3.1.1 ナビゲーションバーを表示する

ホーム画面の左右にあるをタップすると、ナビゲーションバーが表示されます。

図3-1 ナビゲーションバー



表3-1 ナビゲーションバーの説明

アイコン	説明
	ナビゲーションバーを表示または非表示にします。
	前の画面に戻ります。
	ホーム画面を表示します。
	アイコンをタップすると、設定画面やコメント、ワイヤレス投影、カメラなどのクイックツールメニューを表示します。 詳細については、「3.1.3 クイックツール」を参照してください。

アイコン	説明
	バックグラウンドで動作しているアプリを表示します。バックグラウンドのアプリは、1つずつ、または一括で閉じることができます。

3.1.2 コンパスメニューを表示する

ホーム画面で をタップすると、コンパスメニューが表示されます。詳細については、「3.5.2 一般設定」を参照してください。

図3-2 コンパス



表3-2 コンパスの説明

アイコン	説明
	ホーム画面を表示します。
	前の画面に戻ります。
	ホワイトボード画面を表示します。 詳細については、「3.2 ホワイトボード」を参照してください。
	Windowsマシン接続後、Windowsシステムへ切り替えできます。
	表示画面に書き込みできます。 <ul style="list-style-type: none"> ● をタップすると、ペンの「種類」、「太さ」の設定ができます。 ● をタップすると、不要なコンテンツを消去できます。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ をタップして、不要なコンテンツを囲んで選択し、消去できます。 ◇ をタップすると、画面上のコンテンツをすべて消去できます。 ● 「保存 (Save) 」をタップすると、書き込みを保存できます。 ● 「終了 (Quit) 」をタップすると、書き込み画面を終了します。
	ローカルファイルやUSBドライブ上のファイルの管理ができます。

3.1.3 クイックツール

手順

ステップ1：ホーム画面の左右にあるをタップすると、ナビゲーションバーが表示されます。

ステップ2：をタップすると、クイックツールが表示されます。

図3-3 クイックツール



表3-3 クイックツールの説明

機能	説明
設定	システムの設定、確認、変更ができます。 詳細については、「3.5 システムの設定」を参照してください。
コメント	表示画面に書き込みができます。 ●  をタップすると、ペンの「種類」、「太さ」の設定ができます。 ●  をタップすると、不要なコンテンツを消去できます。 ◇  をタップして、不要なコンテンツを囲んで選択し、消去できます。 ◇  をタップすると、画面上のコンテンツをすべて消去できます。

機能	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「保存 (Save) 」をタップすると、書き込みを保存できます。 ● 「終了 (Quit) 」をタップすると、書き込み画面を終了します。
ワイヤレス投影	<p>PCやスマートフォン・タブレットなどの画面をホワイトボードに表示したり、これらのデバイスでホワイトボードを操作することができます。</p>
スクリーンショット	<p>ホワイトボードに表示されている内容を、そのまま画像データにできます。</p> <p>このアイコンをタップすると、デフォルトでは中央のエリアが選択されます。正方形の四隅をドラッグして、エリアの大きさをカスタマイズできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● をタップすると、スクリーンショットをワンタップでホワイトボードにインポートできます ● をタップすると、画面全体をキャプチャします。 ● をタップすると、スクリーンショットをキャンセルできます。 ● をタップすると、スクリーンショットが「年-月-日-時-分-秒.png」という名で、スクリーンショットフォルダに保存されます。
スキャン&ゴー	<p>2つ以上のファイルをZIPファイルに圧縮して送信することができます。</p> <p>アイコンをタップし、共有したいファイルを選択します。異なるタイプのファイルを選択することはできますが、フォルダを選択することはできません。ファイルのサイズは1つにつき200MB以下となります。OKをタップすると、2つ以上のファイルをZIPファイルに圧縮して送信することができます。QRコードが生成されたら、QRコードを読み取ってファイルをダウンロードするか、QRコードの下にある「継続 (Continue to Select)」をタップしてファイル選択画面に戻り、さらにファイルを選択することができます。</p> <p>QRコードの暗号化に対応しています。ホワイトボードがWANに接続されている場合、QR共有機能は自動的にWANします。ホワイトボードがWANに接続されていない場合、QR共有機能は自動的にLANに切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● LANモード：ホワイトボードホットスポットの名称とパスワードが表示されます。ホットスポットに接続後、携帯電話のカメラアプリやブラウザを使用してコードをスキャンします。暗号化が有効にな

機能	説明
	<p>っている場合は、コードをスキャンした後に認証パスワードを入力する必要があります。認証に成功すると、ダウンロード画面が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● WANモード : ホワイトボードホットスポットの名称とパスワードが表示されません。暗号化が有効になっている場合は、携帯電話のカメラアプリやブラウザを使用してコードをスキャンした後に、認証パスワードを入力する必要があります。認証に成功すると、ダウンロード画面が表示されます。 <p></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ファイル共有は、情報漏えいのリスクがあります。QRコードの取り扱いには注意してください。 ● 選択したファイルが同じ名前の場合、QRコードを作成できません。
プラットフォームにアップロード	<p>ホワイトボード上のファイルをクラウドプラットフォームにアップロードして、保存・管理することができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アイコンをタップした後、「登録 (REGISTER)」をタップして、クラウド管理プラットフォームに登録します。サーバーのアドレスまたはドメイン名を入力してから、「登録 (Register)」をタップします。クラウド管理プラットフォームの登録の有効/無効を設定できます（機能を有効にすると、ホワイトボードがクラウド管理プラットフォームに登録されます）。 2. クラウド管理プラットフォームへ登録すると、ホワイトボード上のファイルをクラウドプラットフォームにアップロードして、保存・管理することができます。異なるタイプのファイルをアップロードすることはできますが、フォルダをアップロードすることはできません。 <p>ファイルはZIPファイルに圧縮されています。「アップロード (Upload)」をタップすると、当日と過去2日間の会議リストが表示されます。デフォルトは、アップロードする時点での会議です。この時点で会議がない場合、デフォルトはその時点より前の最後の会議となります。</p>

機能	説明
タイマー	<p>タイマー設定画面が表示されます。</p> <p>タイマーの開始と一時停止、タイマー情報の全画面表示の設定、タイマーのリセットが行えます（リセットは、タイマーが一時停止しているときのみ対応しており、初期状態の00:00:00にリセットされます）。</p>
カメラ	<p>写真を撮ることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内蔵カメラはミラーリングに対応しています。 ● オフ、3秒（デフォルト）、5秒、10秒のカウントダウン設定に対応しています。 ● 「ホワイトボードヘインポート（Import Whiteboard）」をタップすると、スクリーンショットをワンタップでホワイトボードにインポートできます。 ●  をタップすると、ローカルのデフォルトフォルダに写真が保存されます。画像はデフォルトで「年-月-日-時-分-秒.png」という名前になっています。 ● QRコードの共有に対応しています。
分割ビュー	<p>画面が2つになります。</p> <p>（※分割ビューを利用するためには、アップデートが必要です。アップデート方法は32ページを参照してください）</p>
エコ	<p>バックライトの明るさをエコモードにします。</p> <p>バックライトの明るさは、手動または自動で調整できます。</p>
スマートアイケア	<p>ブルーライトの強さを抑えます。</p> <p>この機能を有効にすると、ホワイトボードはブルーライトの強さを下げ、画面をアイケアモードに変更します。</p>
明るさ	<p>スライダーで、バックライトの明るさを調整します。</p> <p>「自動（Auto）」をタップすると、自動調整機能が有効になります。ホワイトボードは環境に応じて輝度を調整します。</p> <p>詳細については、「3.5.2 一般設定」を参照してください。</p>
音量	<p>スライダーで、音量を調整します。</p> <p>ミュート（Mute）をタップすると、ミュートが有効になります。</p>
タッチロック	<p>画面のタッチ操作を無効にします。</p> <p>※電源ボタンを3回押すとロックが解除できます。</p>
ロック画面	<p>画面がロックされます。</p>
電源	<p>電源のシャットダウン、再起動、Windows画面の終了ができます。</p>

3.2 ホワイトボード

ホーム画面で「ホワイトボード」をタップすると、ホワイトボードが起動します。
指やタッチペンを使用して、画面上に文字を書いたり、絵を描いたりすることができます。

図3-4 ホワイトボード

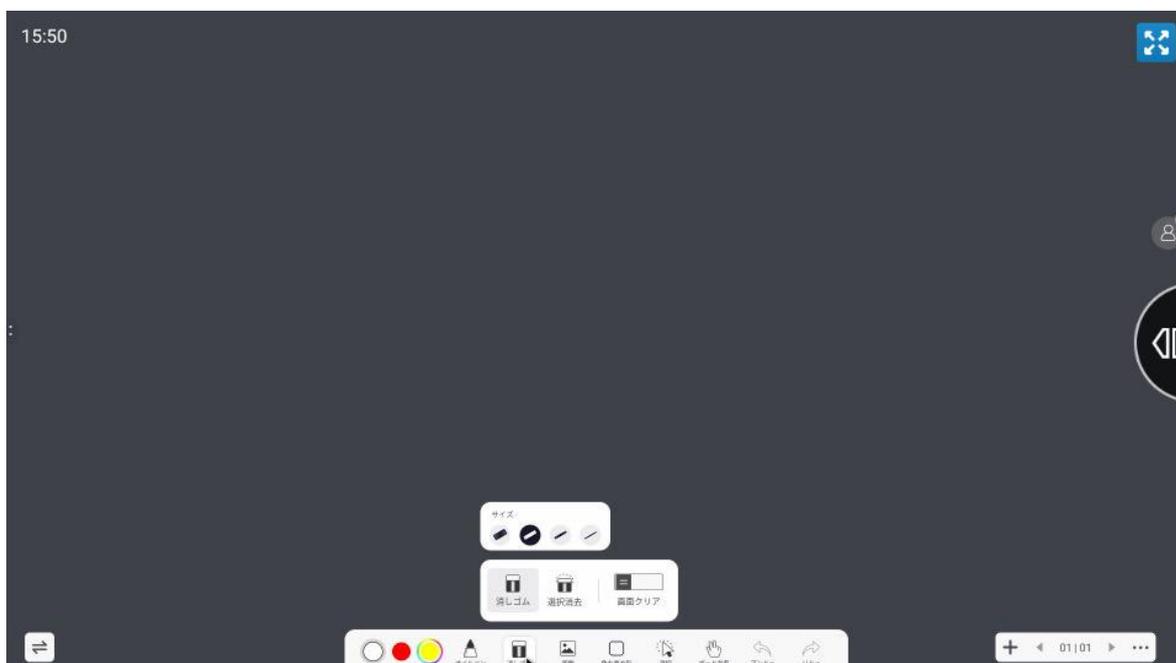


表3-4 ホワイトボードの説明

アイコン	説明
	ホワイトボードのツールバー表示の位置を切り替えます。
	ペンの「色」の設定ができます。
	ペンの「種類」、「太さ」の設定ができます。
	不要なコンテンツを消去できます。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ をタップして、不要なコンテンツを囲んで選択し、消去できます。 ◇ をタップすると、画面上のコンテンツをすべて消去できます。
	画面上のコンテンツを選択し、拡大・縮小、移動、回転させることができます。
	共有ライトモード（共同編集）とズームモードの切り替えができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 共有ライトモード：ペン最大10本まで、同時に書き込みができます。 ● ズームモード：指の間隔を広げたり、縮めたりすることでキャンバスを拡大・縮小することができます。 (ワンポイント書き込みのみに対応します)

アイコン	説明
	直前の操作を取り消します。 (最大20アクションまで、取り消しができます)
	取り消した操作をやり直します。 (最大20アクションまで、やり直すことができます)
	「 画像ファイル 」、「グラフィック」、「表」を挿入できます。 ※画像は最大10枚まで挿入できます。 <対応画像ファイル：bmp、png、jpg、jpeg、gif> ※表は最大12列、12行まで選択できます。(デフォルトのレイアウトは3×3)
	ホワイトボードページが追加できます (最大50ページまで追加できます)
	保存したファイルを表示します。 ◀または▶をタップすると、表示するページの切り替えができます。
	このアイコンをタップすると、以下の操作を行うことができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 新規：新しいホワイトボードファイルを作成します。 ※新規ファイルを作成する前に、必ず内容を保存してください。保存しない場合、変更した内容がすべて失われます。 ● 開く：保存した書き込みファイルを開きます。ホワイトボードファイル形式のみ開くことができます。「開く (Open)」をタップすると、ファイル管理画面のホワイトボードファイルの欄にジャンプします。 ● 背景：ローカルの背景テンプレートまたはカスタムテンプレートを使用できます。  カスタムテンプレートは、bmp、png、jpg、jpegフォーマットの画像のみに対応しています。対応画像サイズは、5MB以下です。推奨する画像比率は16：9です。 ● 保存：ファイルを保存します。デフォルトのファイル名は「年-月-日-時-分-秒」となります。ファイル名をカスタマイズすることができます。ファイル形式は、wbh (ソースファイルフォーマット)、pdf、pngに対応しています。デフォルトでは、ソースファイルフォーマットが使用されません。

アイコン	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● 名前をつけて保存：新規ファイルとして保存します。デフォルトのファイル名は「年-月-日-時-分-秒」となります。ファイル形式は、wbh（ソースファイルフォーマット）、pdf、pngに対応しています。デフォルトでは、ソースファイルフォーマットが使用されます。 ● スキャンして共有：書き込んだホワイトボードファイルをダウンロードします。 ● 終了：ホワイトボードアプリを終了します。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;"> 終了する前に、必ず変更した内容を保存してください。 </div>

3.3 ファイル管理

ローカルファイルやUSBドライブ上のファイルを管理します。

ホーム画面で「**ファイル管理** (FileManager)」をタップすると、ホワイトボードファイルや画像、ドキュメントなどが表示されます。



- ファイルやフォルダをタップして長押しして、ファイルやフォルダを選択します。
- ファイルやフォルダをダブルタップして、ファイルやフォルダを開きます。

図3-5 ファイル管理

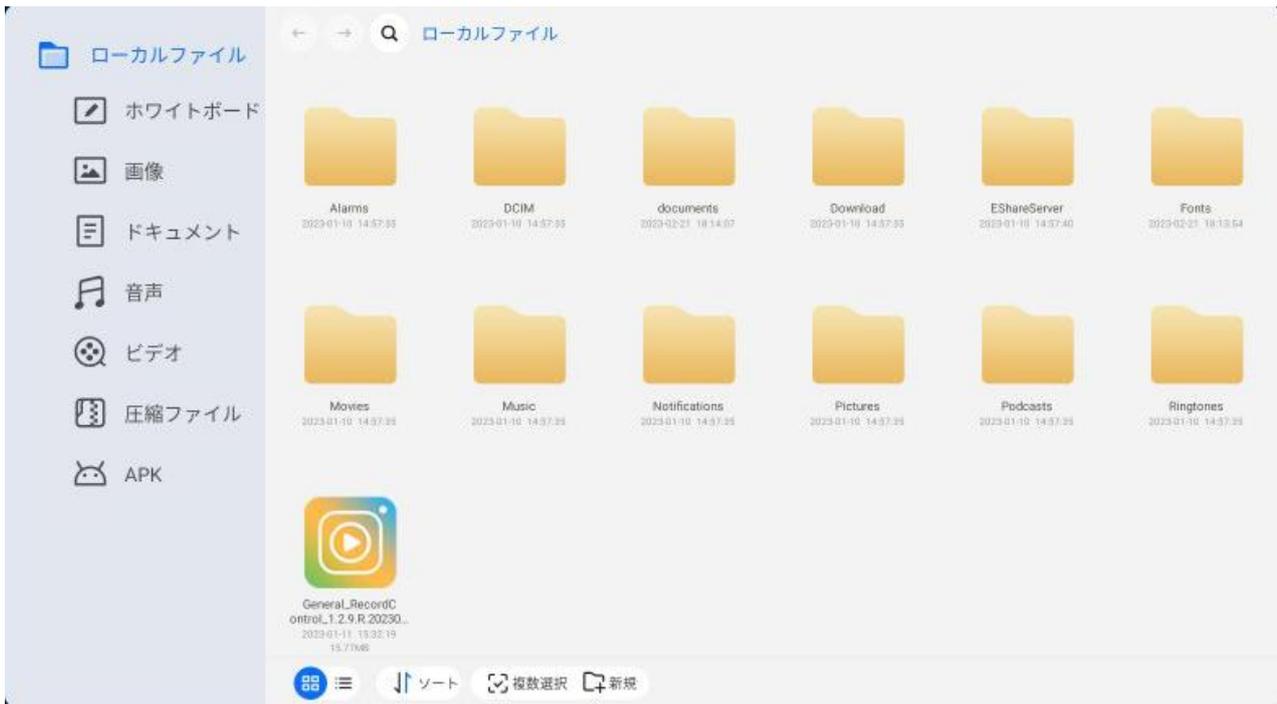


表3-5 ファイル管理アイコン

アイコン	説明
	前の画面や次の画面にあるローカルファイルを表示します。
	ファイル名を入力すると、検索できます。
	ファイルをサムネイルまたはリスト形式で表示します。
ソート	ファイルを「ファイル名」、「サイズ」、「時刻」で選択し、昇順または降順で並び替えます。
複数選択	複数のファイル、またはすべてのファイルを選択します。
新規	新しいフォルダを作成します。
コピー	ファイルやフォルダを選択し、「コピー (Copy) 」または「カット (Cut) 」、「貼り付け (Paste) 」をします。
切取	
貼り付け	
削除	ファイルやフォルダを削除します。
名称変更	ファイルやフォルダの名前を変更します。

3.4 画面共有

スマートフォンやPC、タブレットでホワイトボードを遠隔操作し、その内容をホワイトボードの画面に映し出すことができます。

3.4.1 アプリによる画面共有

ホワイトボードとスマートフォンやタブレットなどのデバイスで画面を共有した後、スマートフォンなどのデバイスの内容をホワイトボードの画面に映し出し、これらのデバイスでホワイトボードを操作することができます。

事前条件

ホワイトボードとPC、スマートフォンは同じネットワーク上に接続してください。
※接続できない場合はクイックツール/設定/「ホットスポット」を有効にしてください。
詳細については、「3.5.1 ネットワーク接続設定」を参照してください。

手順

ステップ1:

ホワイトボードのホーム画面にある「**ワイヤレス投影** (Screen Sharing)」をタップします。

ステップ2:

スマートフォンやタブレットで画面左下のQRコードを読み取るか、WEBブラウザの検索で「<https://eshare.app/>」を入力し、クライアントアプリ「Eshare」をデバイスにインストールします。

例) Android向けEShareの場合



- IPアドレスは、ホワイトボードが接続されているネットワークによって異なる場合があります。
-  をタッチすると、QRコードを拡大して、画面中央で表示します。

図3-6 画面共有


ステップ3：

デバイスにインストールした「Eshare」アプリを起動し、ホワイトボードとEshareを接続します。

※接続に成功すると、スマートフォンなどのデバイスでホワイトボードを遠隔操作することができます。

表3-6 EShareアイコンの説明

アイコン	説明
	モデレーターコントロールセンター。 <ul style="list-style-type: none"> ● 画面またはファイルの共有。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 全て許可：追加承認無しで、スマートフォンなどのデバイスからホワイトボードに画面を映し出したり、ファイルを送信することができます。 ◇ 承認が必要です：スマートフォンなどのデバイスからホワイトボードに、画面を映し出したり、ファイルを送信するときに承認を求めます。 ◇ 終了：スマートフォンなどのデバイスからホワイトボードに画面を映し出したり、ファイルを送信することを許可しません。 ● 表示、制御、およびワイヤレスアノテーション <ul style="list-style-type: none"> ◇ 全て許可：スマートフォンなどのデバイスからホワイトボードの画面を表示、操作、注記することができます。

アイコン	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 閲覧のみ：スマートフォンなどのデバイスからホワイトボードの画面を表示できますが、ホワイトボードの操作および注記はできません。 ◇ 承認が必要です：スマートフォンなどのデバイスからホワイトボードの画面を表示、操作、注記するための承認を求めます。 ◇ 終了：スマートフォンなどのデバイスからホワイトボードの画面を表示、操作、注記することができません。 ● フローティングモデレーターボタン <ul style="list-style-type: none"> ◇ 常に表示：フローティングモデレーターボタンをどの画面にも表示します。ボタンをタップすると、モデレーターコントロールセンターへ移動します。 ◇ ホーム画面にのみ：フローティングモデレーターボタンをホーム画面にのみ表示します。 ◇ 終了：フローティングモデレーターボタンを非表示にします。 ◇ 自動：フローティング・モデレーターボタンは、ホワイトボードがスマートフォンなどのデバイスに接続されているときに表示されます。接続されているデバイスの数を表示することができます。
	<p>表示設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デバイス名：デバイス名をカスタマイズすることができます。 ● 接続方式：接続モードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ デバイス名：EShareを開くと、同じネットワーク上にある大型ディスプレイデバイスをアプリが自動的に表示します。ホワイトボードのデバイス名を選択して、ホワイトボードとEShareを接続します。 ◇ ピンコード (6桁)：ホワイトボードとEShareを接続するには、4桁のPINコードを入力する必要があります。 ◇ ピンコード (8桁)：ホワイトボードとEShareを接続するには、6文字のPINコードを入力する必要があります。 ● マルチスクリーン：無効、2画面、4画面、6画面、9画面から選択可能です。 ● 画面にデバイス名を表示：ホワイトボードと接続されているデバイス名を表示します。 ● 自動フルスクリーン：ホワイトボードと接続デバイスの画面アスペクト比

アイコン	説明
	<p>が異なる場合においても、接続デバイスの画面はホワイトボードの全画面をカバーします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AirPlayを表示：EShareアプリをインストールしなくても、ホワイトボードと同じネットワーク上にあるiOSやmacOSのデバイスと画面共有できます。 ● Miracast：EShareアプリをインストールしなくても、ホワイトボードと同じネットワーク上にあるWi-Fiのデバイスと画面共有できます。 ● Chromecast：EShareアプリをインストールしなくても、ホワイトボードと同じネットワーク上にあるChromecast対応のデバイスと画面共有できます。
マニュアル	画面共有の基本ガイドを表示します。

3.4.2 ワイヤレス dongle による画面共有

PCとホワイトボードで画面を共有した後、PCの内容をホワイトボードの画面に表示し、PCからホワイトボードを操作することができます。

事前条件

- ホワイトボードとPCは同じネットワーク上に接続してください。
 ※接続できない場合はクイックツール/設定/「ホットスポット」を有効にしてください。
 詳細については、「3.5.1 ネットワーク接続設定」を参照してください。
- 互換性のあるワイヤレス dongle を入手してください。
 ホワイトボードには付属しません。必要に応じて、別途お買い求めください。

手順

ステップ1:

ワイヤレス dongle とホワイトボードをペアリングします。

- 1) ホワイトボードのホーム画面にある「**ワイヤレス投影** (Screen Sharing)」をタップします。
- 2) ホワイトボードのフロントパネルにあるUSBポートに、ワイヤレス dongle を挿入します。
 ワイヤレス dongle がホワイトボードとのペアリングを開始します。
- 3) ペアリングに成功したことを示すポップアップが表示されるまで待ちます。
- 4) **OK**をタップします。

ステップ2：

PCの内容をホワイトボードに映し出します。

- 1) ワイヤレス dongle を PC の USB ポートに接続します。



初回接続時には、**ワイヤレス dongle のドライバーをインストール**する必要があります。
インストールに失敗した場合は、**手動でドライバーをダウンロードし、再試行**してください。

※インストールには時間がかかることがあります。

- 2) ワイヤレス dongle のボタンを押すと、PCの内容がホワイトボードに映し出されます。

3.5 システム設定

ネットワーク設定、一般設定、詳細設定、その他のシステム設定をします。

3.5.1 ネットワーク接続設定

ホーム画面で「**詳細 > 設定** (More > Settings)」をタップして、ネットワーク設定を行います。



ワイヤレスネットワークや有線ネットワークを有効にすることができます。ワイヤレスネットワークと有線ネットワークを同時に有効にすることはできません。また、ホワイトボード自体がホットスポットとして機能し、他のデバイスとネットワーク接続を共有することができます。

図3-7 ネットワーク

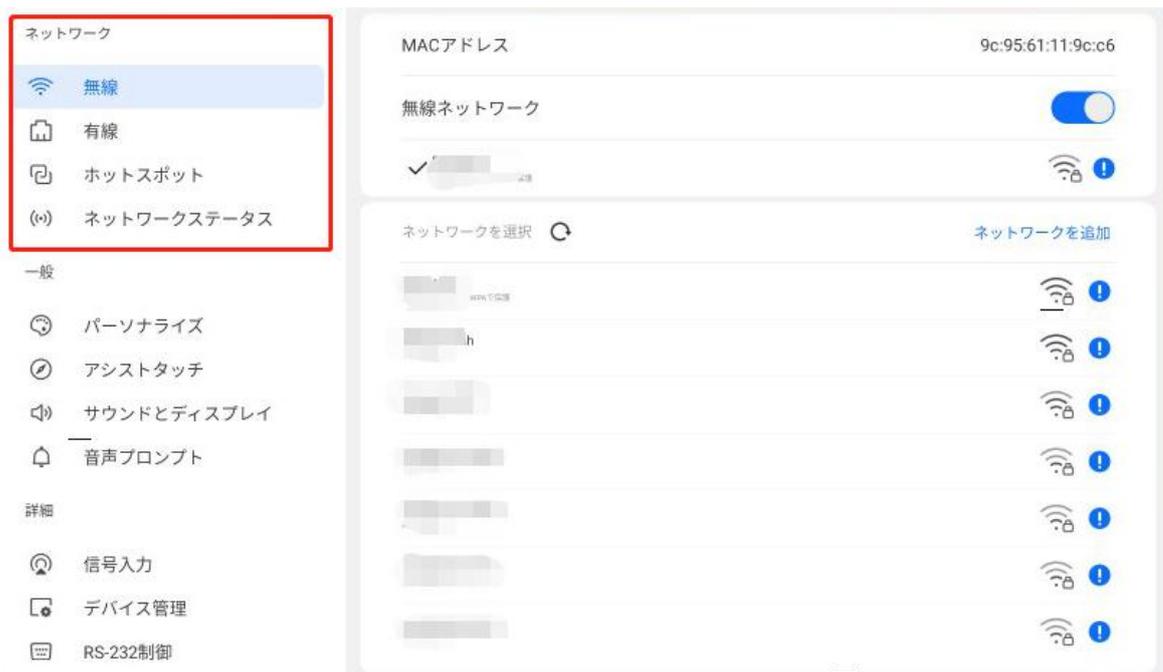


表3-7 ネットワークパラメータ

パラメータ	説明
無線	<p>「無線ネットワーク (Wireless Network)」を有効にすると、ホワイトボードはエリアで利用可能なWi-Fiネットワークに接続できるようになります。ワイヤレスネットワークを追加するには、「ネットワークを追加 (Add Network)」をタップし、SSIDネットワーク名とパスワードを入力してから、必要に応じて詳細設定を行います。</p> <p> ワイヤレスネットワークに接続する際は、安全な認証方法を選択することを推奨します。</p>
有線	<p>有線ネットワーク接続のパラメータを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● DHCP：ネットワーク上にDHCPサーバーがある場合、「有線 (Wired)」を有効にすると、ホワイトボードは自動的に動的IPアドレスを取得します。 ● 静的：ホワイトボードにIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSを手動で設定します。
ホットスポット	<p>「ホットスポット (Hotspot)」を有効にし、ネットワークのSSIDを設定してから、パスワードを入力します。ホットスポット名、ホットスポットパスワード、暗号化方式、周波数帯などの情報を表示することができます。</p>
ネットワークステ	<p>現在のネットワーク接続モード、IP アドレス、デフォルトゲートウ</p>

パラメータ	説明
一テス	エイ、サブネットマスク、DNSなどの情報を表示します。

3.5.2 一般設定

ホーム画面で「詳細 > 設定 (More > Settings)」をタップして、一般設定を行います。

図3-8 一般設定



表3-8 一般設定の説明

パラメータ	説明
パーソナライズ	<p>背景画像を設定すると、「ループ」を有効にし、選択した背景画像を順番に再生して、起動画面をカスタマイズします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 壁紙はデフォルトで8種類用意されています。 ● 壁紙のカスタマイズやアップロードも行うことができます。推奨する画像比率は16：9です。
アシストタッチ	<p>コンパスが自動的に非表示になるタイミングと、非表示方法（小さな丸または消える）を選択またはカスタマイズします。</p> <p> コンパスを有効にした後、2本指でダブルタップしてコンパスを表示します。</p>
サウンドとディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量を調整します。ボリュームが0のとき、画面左下にミュート

パラメータ	説明
プレイ	<p>アイコンが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サウンドエフェクトモード：「標準、音楽、会議室、劇場（Standard、Music、Meeting、Theater）」を選択することができます。 ● 輝度は、1～100の範囲に手動で調整でき、周囲の明るさによる自動調整も可能です。
音声プロンプト	<p>トーンはデフォルトで4種類用意されています。</p> <p>「音声を追加（Add Audio）」をタップし、音声ファイルを追加します。追加できる音声ファイルは10件まで、各ファイルのサイズは500KB以下です。🗑️ をタップすると、追加した音声ファイルを削除できます。</p>

3.5.3 詳細設定

ホーム画面で「**詳細** > **設定**（More > Settings）」をタップして、詳細なパラメーターを設定します。

図3-9 詳細な設定



表3-9 詳細な設定内容

パラメータ	説明
信号入力	<ul style="list-style-type: none"> ● デフォルトスタートアップチャンネル：起動時に有効に

パラメータ	説明
	<p>するチャンネルをカスタマイズします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スタートアップアプリ：ホワイトボード上にあるアプリケーションの中から、システム起動時に毎回開くものを選択します。 ● 信号が検出されました： <ul style="list-style-type: none"> ◇ 自動リダイレクト：機器に接続すると、自動的に対応するチャンネルにリダイレクトします。 ◇ ポップアップウィンドウ：機器が接続されると、接続されている信号ソースチャンネルにジャンプするかを確認するポップアップウィンドウが表示されます。 ● チャンネル名をカスタマイズ：チャンネル名をカスタマイズできます。チャンネル名を変更すると、システム全体のチャンネル名が同期して変更されます。
デバイスの管理	カメラ、マイク、スピーカーの情報を表示します。
RS-232制御	RS-232制御 を有効にし、本ホワイトボードをRS-232透過的デバッグシリアルポートに接続して、デバイス間でデータ送信を行います。

3.5.4 システム設定

ホーム画面で「詳細 > 設定 (More > Settings)」をタップして、システムパラメーターを設定します。

図3-10 システム設定



表3-10 システム設定内容

パラメータ	説明
日付	日付と時刻を自動・手動で設定します。 時刻、日付、タイムゾーンを設定することができます。 「時刻の自動同期 (Auto Sync)」を有効にすると、システム時刻がサーバー時刻に同期されます。無効の場合は、手動で日時の設定が必要です。
言語とキーボード	システム言語と入力方法を選択します。
電源状態	ホワイトボードの起動・終了機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● スタートアップオプション：電源を入れた後のスタンバイまたはスタートアップ (デフォルト) を選択します。 ● 画面オフ：1分、5分、10分後の常時点灯と無操作を設定できます。また、1分から60分までのカスタム設定もできます。 ● スケジュールされたスタートアップ/シャットダウン (最大10プラン)：「プランを追加 (Add Plan)」をタップして、自動的に電源をオン/オフするタイミングを設定します。⊖をタップすると、プランを削除できます。
システムセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ● PIN：「パスコード (Passcode)」を有効にすると、パスコードでホワイトボードをアンロックできます。 ● 解除パターン：「パターン (Pattern)」を有効にすると、パタ

パラメータ	説明
	<p>ーンを描くことでホワイトボードをアンロックできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ロック画面：「ロック画面 (Lock screen)」をタップし、「1分後、5分後、10分後操作禁止」、「カスタム設定」などの画面ロックオプションを選択します。 ● タッチロック：「タッチロック (Touch Lock)」を有効にすると、画面上でのタッチ操作を無効化します。電源ボタンを2秒間に3回押すと、タッチロックが解除されます。 ● USB権限：USB許可が無効の場合、USBデバイスへのアクセスが不可になります。 <p></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本システムは、パターンロックとパスコードの同時使用には対応していません。 ● パスワードは再表示できません。大切に保管してください。パスワードを忘れた場合は、カスタマーサポートまでお問い合わせください。
工場出荷時設定	<p>「工場出荷時設定 (FACTORY SETTINGS)」をタップすると、操作ログや保存されているコンテンツがすべて削除されます。ホワイトボードも工場出荷時の設定に戻ります。</p>
ユーザー規約	<p>個人情報保護方針、ソフトウェア使用許諾契約書、オープンソース通知書をご覧ください。</p>
システムアップグレード	<p>現在のシステムバージョンを表示します。ホワイトボードがネットワークに接続されているときは、「アップデートの確認 (CHECK FOR UPDATES)」をタップして、新しいシステムバージョンがあるかを確認します。</p>
製品について	<p>MACアドレス、デバイスSN、デバイス名（編集可能）、RAM、ストレージ空き容量、解像度、システムバージョン、Androidバージョン、セキュリティベースラインバージョンが表示されます。</p> <p></p> <p>デバイス名は、最大31文字で構成され、文字、数字、および特殊文字(-@.)を含むことができます。</p>

4 シャットダウン

フロントパネル横の電源ボタンを5秒間長押しすると、「今すぐシャットダウン」または「キャンセル」のポップアップ画面が表示されます。「今すぐシャットダウン」の表示をタップすると、電源がOFFになります。

（「今すぐシャットダウン」の表示をタップしなくても、10秒後に自動的に電源がOFFになります）



ホワイトボードは、PCモジュールの電源オフ保護機能を搭載しています。ホワイトボードをシャットダウンすると、自動的にPCモジュールをシャットダウンします。

5 システムアップデート

USB経由でアップデートすることができます。



バージョンダウンすると、セキュリティ攻撃に対して脆弱になります。ご注意ください。

5.1 USBでアップデート

update.zipファイルをUSBメモリにアップロードし、アップデートファイルを使ってアップデートすることが可能です。

(※ <https://www.dahua.mikyo.co.jp/update/>よりupdate.zipファイルをダウンロードできます。)

事前条件

<https://www.dahua.mikyo.co.jp/update/>よりアップデートパッケージを入手してください。

手順

ステップ1:

<https://www.dahua.mikyo.co.jp/update/>よりアップデートファイルをダウンロードしてください。

ステップ2:

アップデートパッケージの名前をupdate.zipに変更し、USBフラッシュメモリのルートディレクトリに保存します。

ステップ3:

ホワイトボードの電源を入れた状態で、USBフラッシュメモリをホワイトボードのUSBポートに差し込みます。



FAT 32フォーマットのUSBフラッシュメモリでアップデートしてください。FAT32以外のフォーマット形式の場合、アップデートに失敗することがあります。

ステップ3:

「今すぐアップデート」のポップアップ画面が表示されます。「**今すぐアップグレード** (Upgrade)」をタップすると、アップデートが開始されます。アップデート完了後、ホワイトボードは自動的に再起動します。

6 FAQ

1. ホワイトボードが自動的にシャットダウンします。

- スリープ機能が有効になっていないか確認してください。

通常のコンピュータのトラブルシューティングの手順をご参照ください。

- 入力ソースのチャンネルを確認してください。信号を受信していない場合、ホワイトボードは自動的にシャットダウンします。
- 安定した電源に接続されていることを確認してください。

2. インジケータランプが点灯しません。

- 電源ケーブルの接続状態や電源に問題がないか確認してください。
- ホワイトボードのロックスイッチがオンになっているか確認してください。

3. 表示色の欠落や異常があります。

ホワイトボードがPCに接続されている場合、HDMIケーブルに損傷がないか、正しく接続されているか確認してください。

4. 画像がフルスクリーンで表示されません。または画像の一部が画面の外に出てしまいます。

- 解像度が16：9であるか、確認してください。
- ホワイトボードが外部機器に接続されている場合、HDMIケーブルを抜き差しして下さい。

5. ホワイトボードに映像は表示されますが、音が出ません。

- 音量を調整してください。
- ホワイトボードがPCに接続されている場合、オーディオケーブルが正しく接続されているか、確認してください。

6. タッチの反応が悪く、反応する位置が正確に対応しません。

- 画面に紙や袖などが接触していないか、確認してください。
- 解像度が16：9か、確認してください。

7. タッチコントロールが反応しません。

ホワイトボードがPCに接続されている場合、ホワイトボードのタッチ (TOUCH) ポートがコンピュータのUSBポートに正しく接続されているか、確認してください。

付録1 タッチ操作

デバイス画面で操作を行うには、タッチペンか、指で直接操作することができます。



本章では、タッチペンでの操作を例にして説明します。

付表1-1 タッチ操作

動作	説明
タップ	タッチペンで画面を1回タップします。
ダブルタップ	タッチペンで画面を2回タップします。
コンテキストメニュー	タッチペンで画面を1～2秒間、軽くタッチします。画面に円が表示されてから、タッチペンを画面から離すとコンテキストメニューが表示されます。
ドラッグ	ドラッグしたいアイコンをタッチペンでタッチしたまま、目的の場所にタッチペンを移動させます。タッチペンを画面から離して、アイテムをドロップします。
スライド	スライドさせたい画面（ウェブ閲覧用のスライダーなど）をタッチペンでタッチしたまま、目的の方向にタッチペンをスライドさせます。タッチペンを画面から離して画面をリリースします。
ズーム	タッチペンでウィンドウ（ウェブページや画像など）を長押しし、別のタッチペンでウィンドウをドラッグして拡大・縮小します。

付録2 サイバーセキュリティに関する推奨事項

サイバーセキュリティは単なる流行語ではなく、インターネットに接続されているすべてのデバイスに関係するものです。IPビデオ監視はサイバーリスクを免れないことはありませんが、ネットワークやネットワークアプライアンスの保護と強化に向けた基本的な対策を講じることで、攻撃を受けにくくすることができます。以下に、より安全なセキュリティシステム構築のためのヒントと推奨方法を記載します。

基本的なデバイスのネットワークセキュリティのために必ず以下を行ってください。

1. 強力なパスワードを使用する

パスワードの設定については、以下の推奨事項を参考にしてください。

- 長さは8文字以上とすること。
- 少なくとも2種類の文字種を含めます。文字種には、大文字・小文字、数字、記号を含みます。
- アカウント名や逆順にしたアカウント名は使用しないでください。
- 123、abcなどの連続した文字は使用しないでください。
- 111、aaaなどの重複文字は使用しないでください。

2. ファームウェアとクライアントソフトウェアを適時アップデートする

- テクノロジー産業における標準的な手順に従い、NVR、DVR、IPカメラなどのデバイスのファームウェアを最新に保ち、システムに最新のセキュリティパッチや修正プログラムを適用することをお勧めします。デバイスが公共ネットワークに接続されている場合は、メーカーがリリースするファームウェアアップデートの情報をタイムリーに入手するために、「アップデートの自動チェック」機能を有効にすることをお勧めします。
- クライアントソフトウェアの最新版をダウンロードしてご利用になることをお勧めします。

デバイスのネットワークセキュリティを向上させるための「設定すると尚良い」推奨事項です。

1. 物理的保護

当社は、デバイス、特にストレージデバイスに対して物理的な保護を行うことを提案しています。例えば、デバイスを特別なコンピュータールームやキャビネットに設置し、アクセス権限や鍵の管理を十分に行ってください。これによって、権限のない人による、ハードウェアの破損やリムーバブルデバイス（USBフラッシュディスク、シリアルポートなど）への不正な接続といった物理的接触を防ぐことができます。

2. 定期的にパスワードを変更する

推測されたり、クラックされたりするリスクを減らすために、定期的にパスワードを変更することをお勧めします。

3. パスワードリセット情報をタイムリーに設定・アップデートする

本デバイスは、パスワードリセット機能に対応しています。エンドユーザーのメールボックスやパスワード保護の質問など、随時パスワードリセットの関連情報をセットアップしてください。情報が変更された場合は、その都度修正してください。パスワード保護の質問を設定する際には、容易に推測できるものは使用しないことをお勧めします。

4. アカウントロックを有効にする

アカウントロック機能はデフォルトで有効になっています。アカウントのセキュリティを保証するためにも、有効にしておくことをお勧めします。攻撃者が間違ったパスワードで何度もログインしようとする、対応するアカウントと送信元のIPアドレスがロックされます。

5. デフォルトのHTTPおよびその他のサービスポートを変更する

デフォルトのHTTPやその他のサービスポートを 1024 - 65535の間の任意の数字に変更し、部外者が使用のポートを推測できるリスクを軽減することをお勧めします。

6. HTTPSを有効にする

安全な通信チャネルでWebサービスを利用できるよう、HTTPSを有効にすることをお勧めします。

7. MACアドレスをバインドする

当社は、ゲートウェイのIPアドレスとMACアドレスを本デバイスにバインドすることをお勧めしています。これによって、ARPスプーフィングのリスクを軽減することができます。

8. アカウントと権限を適切に割り当てる

ビジネスと管理の要件に従い、適切にユーザーを追加し、当該ユーザーに最低限の権限を割り当てます。

9. 不要なサービスを無効にし、セキュアモードを選択する

必要ない場合は、SNMP、SMTP、UPnPなど一部のサービスをオフにしてリスクを軽減することをお勧めします。

必要に応じて、以下で紹介するサービスといったセキュアモードの使用を強くお勧めします：

- SNMP：SNMP v3を選択し、強力な暗号化パスワードと認証パスワードを設定します。
- SMTP：TLSを選択し、メールボックスサーバーにアクセスします。
- FTP：SFTPを選択し、強力なパスワードを設定します。
- APホットスポット：WPA2-PSK 暗号化モードを選択し、強力なパスワードを設定します。

10. オーディオ・ビデオの暗号化送信

オーディオ・ビデオデータのコンテンツが非常に重要な場合や機密性が高い場合は、送信中にオーディオ・ビデオデータの盗聴リスクを軽減するためにも、暗号化送信機能を利用することをお勧めします。

注意：暗号化送信により、送信効率に若干の低下が発生します。

11. セキュリティ監査

- オンラインユーザーの確認：定期的にオンラインユーザーを確認し、認証なしでデバイスにログインされていないか確認することをお勧めします。
- デバイスログの確認：ログを確認することで、デバイスのログインに使われたIPアドレスとその鍵となる操作を知ることができます。

12. ネットワークログ

本デバイスのストレージ容量は有限なため、保存されるログにも限りがあります。長期間保管する必要がある場合は、ネットワークログ機能を有効にして、重要なログをネットワークログサーバーに同期して追跡できるようにしておくことをお勧めします。

13. 安全なネットワーク環境を構築する

デバイスの安全性をより確実にし、潜在的なサイバーリスクを低減するために、当社は以下のことを推奨します。

- ルータのポートマッピング機能を無効にして、外部ネットワークからイントラネットデバイスに直接アクセスできないようにします。
- 実際のネットワークのニーズに応じて、ネットワークを分割・分離します。2つのサブネットワーク間に通信要件がない場合は、ネットワーク分離効果を実現するために、VLAN、ネットワークGAPやその他のテクノロジーを使用してネットワークを分割することをお勧めします。
- 802.1Xアクセス認証システムを確立し、プライベートネットワークへの不正アクセスのリスクを軽減します。

- IP/MACアドレスフィルタリング機能を有効にして、デバイスへのアクセスを許可するホストの範囲を制限します。

詳細

セキュリティに関する発表や最新のセキュリティ公告については、Dahua公式サイトでのセキュリティ緊急対応センターでご確認ください。

アフターサービスについて

製品の保証について

この製品には保証書が同梱されています。必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

保証期間はお買い上げから3年間となっております。保証期間中でも有償修理となる場合がありますので、保証書記載の「保証規定」をよくお読みください。尚、保証の対象は、製品のハードウェア部分に関する保証に限ります。製品のハードウェア部分に起因しない不具合について、復旧作業を行う場合は、別途作業費が発生します。また、製品の取り外しや再設置に必要な費用は別途お客様負担となります。

■ 出張修理の依頼について

修理を依頼される際には、「FAQ」（34ページ）を参照のうえ、再度確認してください。それでも異常がある場合にはご使用を中止し、電源コードをコンセントから抜いたうえで保証書に記載している連絡先にご連絡ください。自分で修理を試みることは非常に危険ですので、絶対に行わないでください。尚、ご連絡いただく際には、以下の内容をお知らせください。

- ・ 品名：DAHUA DeepHub デジタルホワイトボード
- ・ 型番：DHI-LCH65-MC410-B / DHI-LCH75-MC410-B
- ・ お買い上げ日（年月日）
- ・ 故障の状況（できるだけ具体的に）
- ・ ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- ・ お名前
- ・ 電話番号
- ・ ご訪問希望日

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書記載の「保証規定」に従って修理させていただきます。

(製品の保証期間が過ぎている場合でも、修理によって製品の性能が維持できる場合は、ご希望により有償修理させていただきます。)

修理費用には、技術料、部品代、出張料などが含まれます。

- ・技術料は、製品を修復するために必要な費用です。
- ・部品代は、修理に使用された部品の費用です。
- ・出張料は、技術者を製品の場所に派遣する場合の費用です。

アフターサービスに関してご不明な点がある場合は、保証書に記載している連絡先にお問い合わせください。

仕様

液晶パネル	パネル寸法	65インチ; 75インチ
	輝度	65インチ: 350 cd/m ² ; 75インチ: 350 cd/m ² ;
	対比	1200:1
	解像度	3840 (H) × 2160 (V)
	バックライト	DLED
	視野角	H: 178°; V: 178°
	ガラス	防眩強化ガラス; モース硬度スケール: 7
タッチスクリーン	タッチテクノロジータイプ	赤外線タッチテクノロジー
	タッチポイント	10
	書き込みモード	指+ペン
	応答時間	<10 ms
	有効なタッチ	2 mm
カメラ	解像度	5MP
	最大解像度	Android: 1920*1080@30 fps; OPS: 2560 × 1440@30 fps
	歪み	≤5%
	視野	H: 79°; V: 51°; D: 88°
スピーカー	内蔵スピーカー	2
	パワー	全周波数: 15W×2; 低音: 15W×1
マイク	ピックアップ距離	Far-field sound pickup: 6 m–8 m (19.69 ft–26.25 ft)
	マイク数	2
	機能	AGC, Echo Cancellation
	ポラーパターン	全方向性
ビルトインシステム	OS	Android 9.0
	CPU	Quad-core A55
	RAM	4 GB
	ROM	32 GB
デバイスポート	ネットワークポート	1 × RJ-45
	Wi-Fi	1 × Wi-Fi; 1 × Hotspot
	USB	3 × USB 3.0; 1 × Micro USB
	RS-232	1 × RS-232
	ビデオインプット	1 × HDMI IN(up to 4K/60)
	オーディオアウトプット	1 × 3.5 mm (Line Out);
	ライトセンサー	1
一般	電源	100–240 VAC, 50/60 Hz
	消費電力	65-inch: 150W; 75-inch: 300W;
	動作温度	0 °C to +45 °C (32 °F to +113 °F)
	製品素材	金属ケース
	設置	ウォールマウント; 床置き
	商品サイズ	65-インチ: 1485mm × 941mm × 87mm 75-インチ: 1707mm × 1066mm × 87mm
	梱包サイズ	65-インチ: 1587mm × 1070mm × 225mm 75-インチ: 1810mm × 1189mm × 235mm

ENABLING A SAFER SOCIETY AND SMARTER LIVING